

保証書

この製品は厳密な品質管理および検査に合格し、製造出荷された製品です。しかし通常のご使用において万一自然故障や調整の必要が生じた場合は保証規定に従い保証いたします。

《保証規定》

1. 本機の取扱説明書、本体貼付の注意ラベル等に従った正しい使用状態で保証期間内に故障した場合には無償修理いたします。お買上げの販売店に商品を本保証書とともにご持参ください。また送付を希望される場合は送付先を販売店にご確認ください。
2. 次の場合は保証期間中でも有償修理となり、実費にて申し受けます。
 - (a) お取扱いの不注意及びお客様ご自身による修理改造が原因の故障または損傷。
 - (b) お買上げ後の輸送、移動、落下等による故障または損傷。
 - (c) 火災、地震、水害、落雷などの天災地変、公害、塩害、ガス害、異常電圧や指定外の電源使用などによる故障または損傷。
 - (d) 本保証書のご提示がない場合。
 - (e) 本保証書に品番、製造番号、お買上げ年月日、お客様名、住所、販売店名の記入がない場合、あるいは記入内容を改ざんされた場合。
3. 万一、ラミネート加工に失敗した場合やラミネート加工により原稿が損傷し再生不能となった場合でも、原稿に対する保証は致しかねます。
4. 本商品はお客様にお持ち込み、またはご送付頂く修理となっております。修理ご依頼品のご持参及びお持ち帰りの交通費など、またご郵送される場合の郵送料金及び諸掛かりは、お客様のご負担となります。
5. 本保証書は日本国内においてのみ有効です。 This warranty is valid only for Japan.

※この保証書によって、お客様の法律上の権利を制限するものではありません。

※保証期間経過後の修理等については、お買上げの販売店又は弊社にお問い合わせください。

品 番	PLB-A4/PLB-A3	製造番号	
保証期間	お買上げ 年 月 日より6カ月間		
お 客 様	ご住所 〒 _____		
	TEL _____ 様		
販 売 店	住所・店名・TEL _____		

★販売店様へ：必要事項をご記入の上、お客様へお渡しください。

●この商品に関するご意見、ご質問については下記へお寄せ下さい。

ナカバヤシ株式会社

〒536-0005 大阪市城東区中央2丁目1番23号

ナカバヤシホームページは下記のアドレスでご覧になれます。
<http://www.nakabayashi.co.jp/>

お問い合わせは ☎ 0120-166779 07.03

Personal Laminator

LAMI BOX

パーソナルラミネータ・ラミボックス

PLB-A4 / PLB-A3

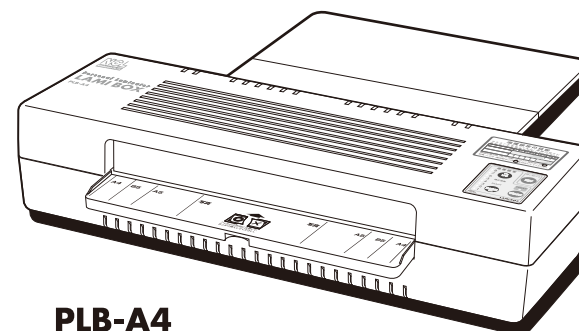
Nakabayashi

取扱説明書

●保証書付●

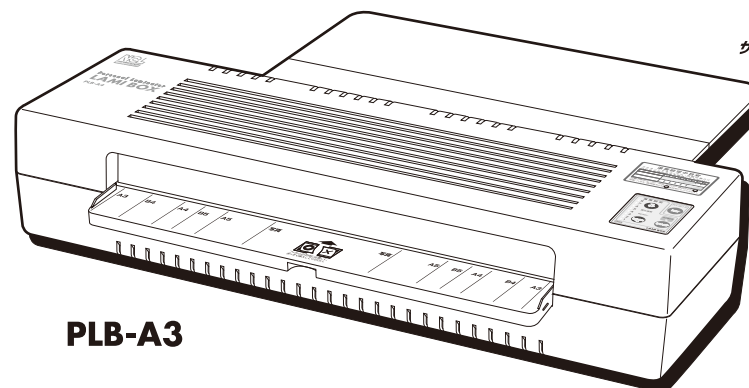
この度は、弊社「パーソナルラミネータPLB-A4/PLB-A3」をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。

- この「取扱説明書」は本機の操作方法および使用上の注意事項について記載しています。
- 本機の性能を十分発揮させ、安全で効果的なご使用をしていただくためにも、この「取扱説明書」を最後までお読みください。
- お読みになった後は大切に保管し、必要な時にご利用ください。



PLB-A4

A4
サイズまで対応



PLB-A3

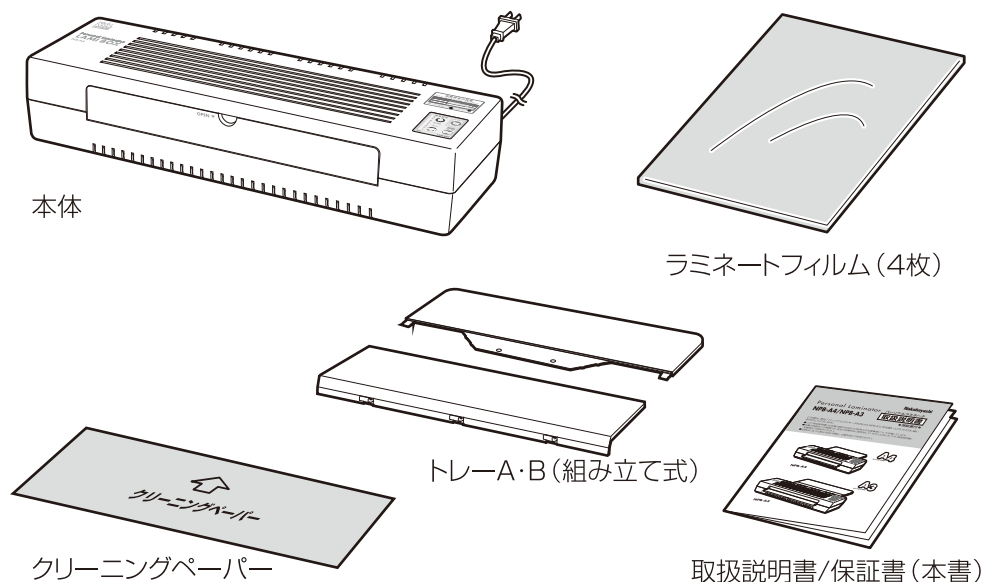
A3
サイズまで対応

目次

目次・梱包内容の確認	P.1
安全上の注意事項	P.2～3
各部の名称と働き	P.4
ホットラミネートについて・ラミネートする前のご注意	P.5
ホットラミネートを行う① ～ラミネートフィルムの準備	P.6
ホットラミネートを行う② ～ラミネータの準備	P.7～8
ホットラミネートを行う③ ～ホットラミネートの開始・終了	P.9
フィルム詰まりのトラブル	P.10
ローラークリーニング・本体のお手入れ	P.11
ラミネートQ&A・主な仕様	P.12
故障かな?と思ったら トラブル時のチェックポイント	P.13～14
保証書	裏表紙

梱包内容の確認

下図のとおり、本体および付属品が同梱していることをご確認ください。(PLB-A3のセット例)



症状	原因／処置
・フィルムにシワ (横方向) が発生する	→ 温度設定を原稿の厚みに合わせて設定してください。 ■ P.8 → 原稿が極端に薄すぎると、フィルムに熱がかかりすぎてシワが発生することがあります。 → 原稿の紙質によっては、熱による収縮によってシワが発生することがあります。 → 温度設定を温度DOWNスイッチで少しづつ温度を下げて調整してください。 ■ P.12 → 原稿のサイズに合ったフィルムをご使用ください。フィルムに余白が多いとシワや巻き込みの原因となります。最適なサイズのフィルムがない場合は捨て紙を入れてラミネートしてください。 ■ P.6 → 反り・折れ・シワのあるような紙はきれいにラミネートできません。 → フィルムを挿入口に無理に押し込んだり、取り出し口から無理に引っ張ったりしないでください。 → 取り出し口から出てきたフィルムは速やかに取り出してください。放置するとフィルムの端が熱で折れたりシワになります。 → 熱風や冷風が本機にあたらないようにしてください。 → 必ず「ナカバヤシ」のラミネートフィルムをご使用ください。フィルムの特性が合わないとは正しくラミネートできません。
・フィルムの端が折れて出てくる	→ ローラークリーニングをしてください。ローラーが汚れているとフィルムの先端が折れて出てきたり、フィルム詰まりの原因になります。 ■ P.11
・ラミネートフィルムが汚れて出てくる (白い線が付く)	→ ローラークリーニングをしてください。 ■ P.11 → フィルムに付着した粘着剤の汚れは中性洗剤で拭き取ってください。ベンジン・シンナー・アルコールなどは使用しないでください。
・ラミネートフィルムが途中で止まった (カタカタと異音がある)	→ 電源が「OFF」になっていませんか?
・取り出し口から出てこない	→ フィルム詰まりが起きています。REVERSEスイッチを押し続けてフィルムを取り除いてください。 ■ P.10
・フィルムが詰まる	→ 原稿のサイズに合ったフィルムをご使用ください。フィルムに余白が多いとシワや巻き込みの原因となります。最適なサイズのフィルムがない場合は捨て紙を入れてラミネートしてください。 ■ P.6 → ローラークリーニングをしてください。ローラーが汚れているとフィルム詰まりの原因になります。 ■ P.11 → 反っている原稿や極端に薄い原稿をラミネートするとフィルム詰まりの原因になります。 → 必ず「ナカバヤシ」のラミネートフィルムをご使用ください。フィルムの特性が合わないとは正しくラミネートできません。



いずれの場合も異常がないのに、正しくご使用いただけない場合には電源を「OFF」の状態にして電源プラグを抜き、弊社または販売店にご相談ください。

ご使用上の注意事項

⚠ 警告

	濡れた手で電源プラグを抜き差ししないでください。感電の恐れがあります。
	お子様だけの使用、乳幼児の手の届くところでの使用は避けてください。やけど・感電の恐れがあります。
	ご自分での分解・修理・改造はしないでください。火災・感電や思わぬケガをする恐れがあります。内部の点検や修理は弊社または販売店にご相談ください。
	機械に水などの液体をかけないでください。感電・故障の原因となります。
	電源コード・プラグを傷つけたり、加工したりしないでください。また、コードの上に重い物をのせたり、引っ張ったり、無理に曲げたりするとコードを傷め、火災・感電の原因となります。
	機械上部の放熱口をふさがないでください。また、機具のすき間に異物を差し込まないでください。火災や機械の故障の原因となります。
	機械の内部や外部の掃除などに可燃性スプレーや可燃性揮発物等を使用しないでください。引火の恐れがあります。
	電源プラグ・コードなどが異常に熱くなる・変なにおいがする・煙がでる・内部に水や異物が入ったなど異常状態のまま使用すると、火災・感電の原因となります。このような場合は必ず電源スイッチを切り、コンセントから電源プラグを抜き、弊社または販売店にご相談ください。お客様での分解・修理は絶対におやめください。
	電源プラグ・コードを抜き差しする時は必ず電源を「OFF」の状態にし、電源コードを持たずに先端の電源プラグをもってください。また、電源プラグはコンセントの奥までしっかりと差し込んでください。感電・ショート・火災の原因となります。

⚠ 注意

	使用中の機械上部およびラミネートされた直後のフィルムは大変高温になっています。やけどに十分ご注意ください。
	髪の毛・ネクタイ・ネックレスなど巻き込まれる危険のあるものは、フィルム挿入口に近づけないでください。巻き込まれてケガをする恐れがあります。
	長時間機械をご使用にならない場合は、必ず電源スイッチを切り電源プラグをコンセントから抜いてください。また、ラミネート作業中はそばを離れないでください。
	ラミネート以外の用途に使用しないでください。事故や故障の原因となります。
	1時間以上連続で使用しないでください。(スタートスイッチを押して1時間後には自動的に加熱ヒーターは切れます。)1時間経過後は、30分以上電源スイッチを「OFF」の状態でご休ませた後、再度ご使用ください。本製品は業務用ではありません。

ラミネートQ&A

Q1：写真をラミネートしても大丈夫？

A：問題ありません。ただし、インスタント写真は撮影後数日はローラーの圧力で写真の中の水分が漏れ出すことがあります。一週間程度待って写真が十分に乾燥してからラミネートしてください。

Q2：カラーコピーやカラープリンタで作成した原稿をラミネートしても大丈夫？

A：カラーコピー、インクジェットプリンタ・熱転写プリンタ等は問題ありません。ただし昇華型熱転写プリンタで作成した原稿は時間経過により、像がぼやけたり退色したりすることがありますのでご注意ください。

Q3：作業途中で温度設定を操作する場合は？

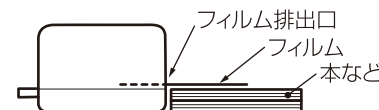
A：温度を上げる場合、温度UPスイッチを押してください。
温度を下げる場合、温度DOWNスイッチを押してください。
適正温度ランプ(緑)が消灯します。しばらくすると再点灯します。再点灯した事を確認してからご使用ください。
※ローラーの表面温度が下がるまで少し時間がかかります。

Q4：ラミネートしたフィルムが反るのですが… (トレーより長いフィルムを使用した場合)

A：ラミネート直後のフィルムは軟らかくなっているので反ることがあります。よりきれいに仕上げるためには、トレーを外してフィルム排出口の下に本などを積んでフィルムがまっすぐ出てくるようにしてください。



注意 フィルム排出口をふさがないように、高さには十分ご注意ください。



主な仕様

品 番	PLB-A4	PLB-A3
本 体 寸 法	W380×D123×H87mm (トレーは含まず)	W493×D145×H99mm (トレーは含まず)
本 体 重 量	約2.3kg	約4.6kg
電 源	AC100V 50/60Hz	
消 費 電 力	320W	600W
最大ラミネート幅	228mm	328mm
最大ラミネート厚	0.6mm (フィルムと原稿を合わせた厚み)	
ラミネート速度	約270・320mm/分 (50・60Hz)	約325・390mm/分 (50・60Hz)
温 度 設 定	約115～150℃ (8段階調整式)	
ウォームアップ時間	約8分 (室温や温度設定により異なります)	
コ ー ド の 長 さ	約1.4m	
主 要 材 質	ABS樹脂	
付 属 品	トレー・クリーニングペーパー	
	A4<100μm>ラミネートフィルム(4枚)	A3<100μm>ラミネートフィルム(4枚)

※改良のため、予告なく仕様・外観を変更することがあります。

ラミネートについて

●ホットラミネート ▲ P.6～

最も一般的なラミネート方式です。バック式のフィルムに原稿をはさみ込み、熱とローラーの圧力で原稿に接着します。一度に両面がラミネートされます。

- 特長**
- ・ラミネートすると紙がプラスチックのように丈夫になり、水・汚れ・傷から守り偽造防止効果も高まります。
 - ・原稿をフィルムにはさんでラミネータに通すだけの簡単操作で美しいラミネートが可能です。

ホットラミネートできないもの 次のようなものはラミネートしないでください。

紙以外のもの

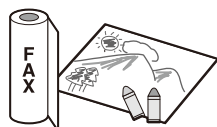


金属・木片・布など

クレジットカード等の磁気カード



熱により変色・変質するもの



感熱紙・クレヨン画など

可燃物・軟化しやすいもの



セロハン・ビニール製品など

その他、先端が尖ったものや折れ曲がっているものなど

- 注意** 昇華型熱転写プリンタで印刷した原稿をホットラミネートすると、時間が経って像がぼやけたり退色したりすることがありますのでご注意ください。

ラミネートする前のご注意

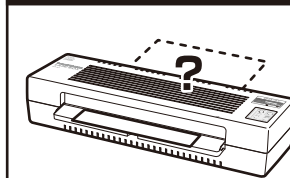
一度ラミネートしたものをはがしたり、やり直したりすることはできません。また、誤った使用方法によりラミネートを失敗したり、フィルムが詰まって故障の原因となることもあります。ご使用方法に従い正しくお使いください。

- 注意**
- ・たった一枚しかないような大切なものはラミネートしないでください。
 - ・本機の使用による原稿等の破損・損失につきましては、いかなる責任も負いかねますのであらかじめご了承ください。

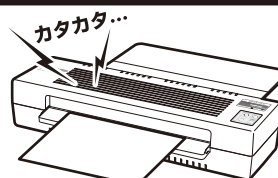
フィルム詰まりのトラブル

ローラーの汚れ・フィルムに余白が多い・フィルム挿入方向の間違いなどが原因でフィルムが詰まってしまうことがあります。下図のような状態の時は、すぐに背面の電源スイッチを「OFF」の状態にしてください。

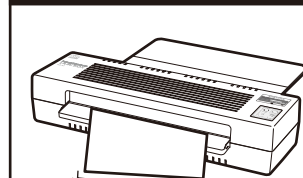
フィルムが出てこない



・途中で止まった
・カタカタ異音がる



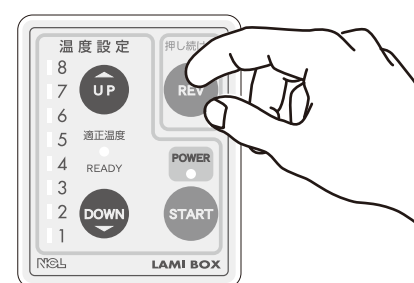
斜めに入れてしまった



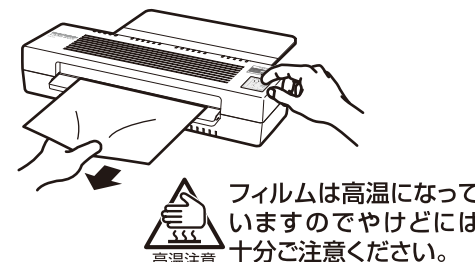
- 注意** ラミネート作業中はそばを離れないでください。上図のような状態に気付かず放置した場合は、フィルムを取り除くことが非常に困難になったり、機械の故障や火災の原因になります。

◎詰まったフィルムの取り除き方

1.REVERSEスイッチを押し続けます

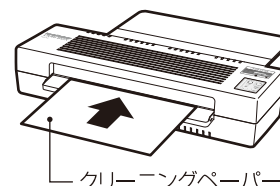


2.フィルムを強く引っ張りながら取り除きます



フィルムは高温になっていますのでやけどには十分ご注意ください。

3.ローラークリーニングを行います



クリーニングペーパー

- !!** フィルムを取り除いた後は必ずローラークリーニングを行ってください。フィルムが詰まると粘着剤がローラーに多く付着するので、そのまま使用を続けるとフィルム詰まりが起りやすくなります。

【▲ P.11「ローラークリーニング」参照】

- 注意** 上記の方法でフィルムを取り除くことができない場合は、弊社または販売店にご相談ください。お客様での分解・修理はしないでください。

ホットラミネートを行う②

ラミネータの準備

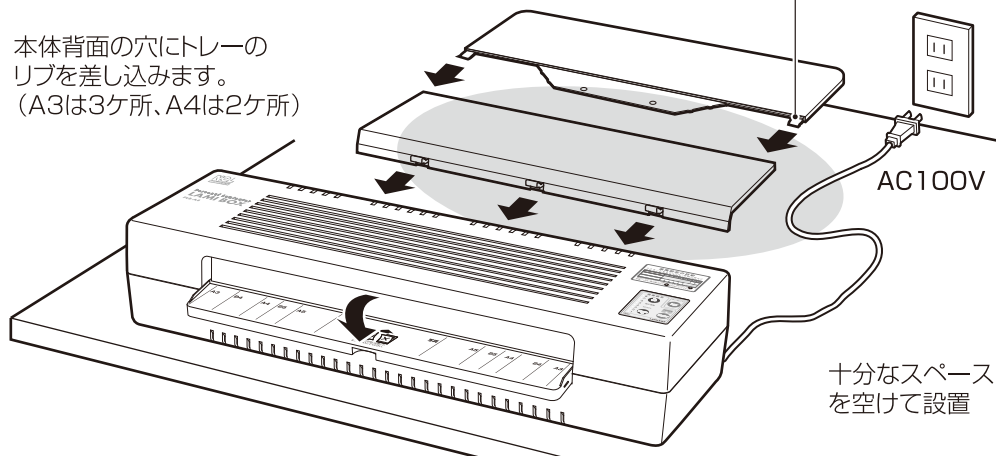
1. ラミネータを設置します

- ・ラミネータを水平な場所に設置します。
- ・トレイA・Bを組み立てます。
- ・組み立てたトレイを本体の背面に取り付けます。
- ・フィルム投入口を開けます。
- ・電源プラグをコンセントに差し込みます。



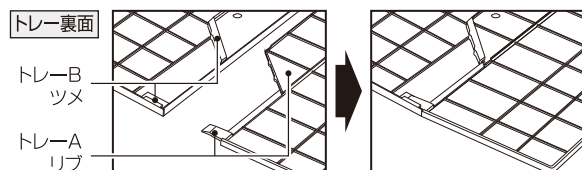
ラミネータの後ろのスペースを十分に空け、ラミネートされて出てきたフィルムが壁などの障害物に当たらないようにしてください。

トレイAの両先端と中央のリブをトレイB裏面のツメにしっかりと噛み合わせます。

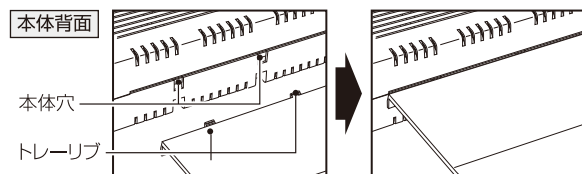


十分なスペースを空けて設置

トレイの取り付け方



トレイAの両先端と中央のリブをトレイB裏面のツメにしっかりと噛み合わせます。

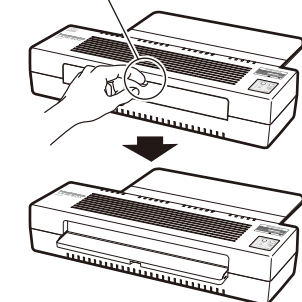


本体背面の穴にトレイのリブを差し込みます。

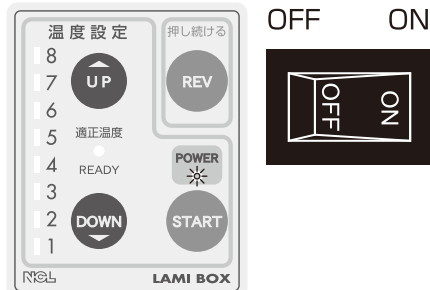
※トレイ先端部を下げて斜にして差し込み、その後水平にしてください。(穴はA3は3ヶ所、A4は2ヶ所)

フィルム投入口を開け方

フィルム投入口の凹部に指をかけて軽く引き、手前に倒してください。



2. 電源スイッチを「ON」にします



ラミネータ背面の電源スイッチを「ON」の状態にします。ラミネータ内部のモーターが動き出しPOWERランプが点灯します。

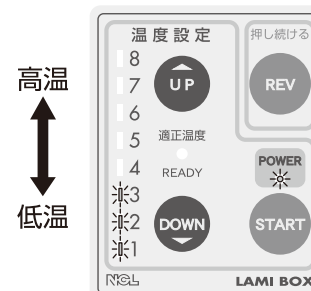
3. スタートスイッチを押します



※初期温度設定は、段階3に設定されています。

スタートスイッチを押すとラミネータ内部のヒーターが作動し温度設定ランプが点灯します。

4. 温度設定を行います



温度設定の目安
ラミネートするフィルム・原稿の厚さに合わせて設定温度を調節してください。

設定温度	1	2	3	4	5	6	7	8
100μm	薄	薄	薄	薄	薄	薄	薄	薄
150μm	薄	薄	薄	薄	薄	薄	薄	薄

原稿の厚みは、コピー用紙・カタログ・雑誌などは(薄)写真・ハガキ・画用紙などは(厚)を目安にしてください。

●原稿の例

薄 - コピー用紙・カタログ・雑誌など。

厚 - 写真・ハガキ・画用紙など。

「温度設定の目安」を参考に、原稿やラミネートフィルムの厚みに合わせて温度を設定してください。温度UPスイッチを押すと設定温度が上がり、温度DOWNスイッチを押すと設定温度が下がります。※左図は100μmのフィルムで薄物の原稿をラミネートする場合の設定です。

5. 適正温度ランプ(緑)が点灯するまで待ちます



約8分後に適正温度ランプが点灯します。

●待ち時間について

時間は室温や温度設定により異なります。

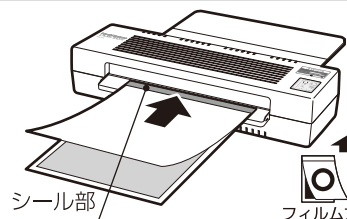
※記載の時間は約25℃の室内で温度設定が100μmのフィルム・原稿が薄物の場合です。

※内部のローラーが加熱されるため、ゴムのにおいが発生しますが使用上の問題はありません。

ホットラミネートを行う③

ホットラミネートの開始

6.適正温度ランプ(緑)が点灯したらフィルムを挿入します

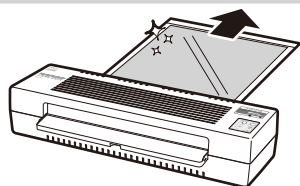


- ・原稿をはさんだフィルムをサイズ表示を目安にして、挿入口からまっすぐに入れます。ローラーにフィルムがあたると自動的に送り込まれます。
- ・フィルムを強く押し込まないでください。先端が折れ曲がりフィルム詰まりの原因となります。

必ずフィルムのシール部側から挿入してください。

フィルム方向に注意

7.取り出し口よりラミネートされて出てきます



フィルムが背面の取り出し口から完全に出てきてからフィルムを取り出し、平らなところに置いて冷ましてください。



ラミネート直後のフィルムは高温になってます。やけどには十分ご注意ください。

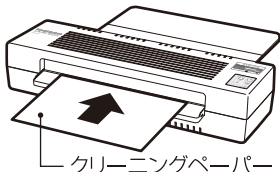
- ・ラミネート後はできるだけ速やかにフィルムを取り出してください。取り出し口に放置すると、加熱により折れ曲がったりシワになったりします。また、ラミネート直後のフィルムは変形しやすくなっていますので取り扱いにご注意ください。
- ・続けてラミネートする場合は、必ず先に入れたフィルムを取り出してから行ってください。また、適正温度ランプ(緑)が消灯したら再度点灯してからご使用ください。

自動ヒーターOFF機能について

本機はスタートスイッチを押してから1時間で自動的に温度設定ランプ・温度適正ランプが点滅し、ラミネータ内部の加熱ヒーターが切れます。(自動ヒーターOFF機能)再度ご使用の際は30分以上電源スイッチを「OFF」の状態でご休ませた後、ホットラミネートを行う②の「3.スタートスイッチを押します」からの操作を行ってください。【▶ P.8「スタートスイッチを押します」参照】

ホットラミネートの終了

8.ローラークリーニングを行います



- ・作業が一通り終了したら、クリーニングペーパーを数回通してローラークリーニングを行ってください。
- ・一度にたくさんラミネートする場合は、約10枚に1回ぐらいの割合でローラークリーニングを行ってください。

【▶ P.11「ローラークリーニング」参照】

9.ラミネータの終了

- ・背面の電源スイッチを「OFF」の状態にして、電源プラグをコンセントから抜いてください。「温度設定ランプ」および「POWERランプ」が消灯し、ローラーの回転が停止します。
- ・本体が十分に冷めてから保管してください。

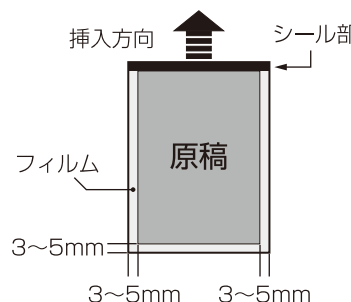
ホットラミネートを行う①

ラミネートフィルムの準備



注意 フィルムは必ず「ナカバヤシ」のラミネートフィルムをご使用ください。フィルムの特徴が合わない、シワの発生やフィルム詰まりの原因となります。

ラミネートフィルムに原稿をはさみます



- ・ラミネートフィルムは原稿よりも3~5mm位大きいものをご用意ください。

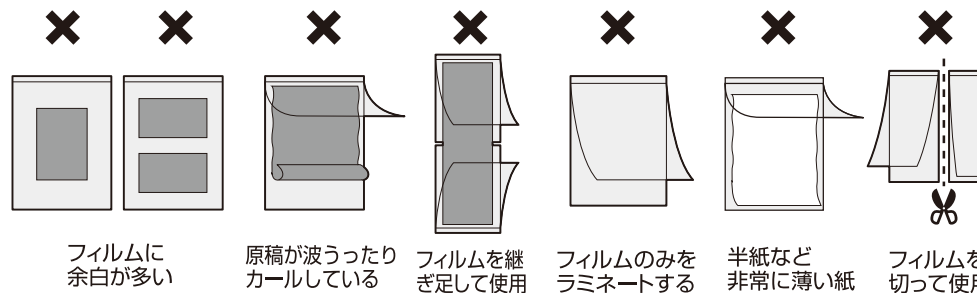
- ・原稿はフィルムのシール部に当たるまで差し込んでください。余白が多いとローラーに巻き付きやすくなりフィルム詰まりの原因となります。

- ・ラミネート可能な厚みはフィルムと原稿を合わせて最大0.6mmまでです。

ただし原稿の厚みが約0.4mmを超える場合は、原稿の周囲が十分に接着されない場合があります。



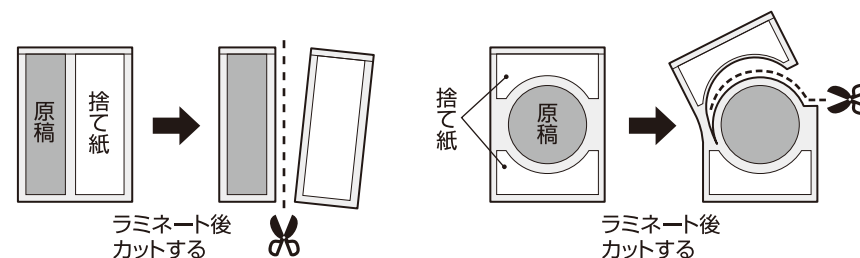
注意 次のようなラミネートはシワの発生やフィルム詰まりの原因となりますので、おやめください。



最適なサイズのフィルムがない場合は



最適なサイズのフィルムがない場合は、図のように「捨て紙」を入れてラミネートした後、不要な部分をカットしてください。



ローラークリーニング

●ローラークリーニングを行わないと…

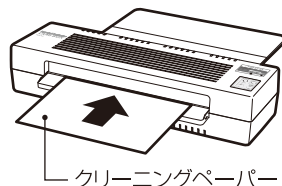
- ・フィルム詰まりが起きる
- ・フィルムの先端が折れてラミネートされる
- ・ラミネートした物に汚れ(白い線)が付着する

▶ これはフィルムからはみ出した粘着剤がローラーに付着するためです。

このようなトラブルを防ぐためにも、定期的にローラークリーニングされることをおすすめします。

・クリーニングの方法

ラミネータの温度が高い状態(通常のホットラミネートが可能な状態)で、付属のクリーニングペーパーをフィルム挿入口から入れます。これを数回繰り返すと、ローラーに付着した粘着剤が取り除かれローラーがクリーニングされます。



クリーニングペーパー

・クリーニングを行う頻度

ラミネート作業が一通り終了するごとに、また一度にたくさんラミネートする場合は約10枚に1回の割合でローラークリーニングを行います。

注意 クリーニングペーパーはまっすぐ挿入してください。斜めに入れると機械内部で詰まり故障の原因になります。

●クリーニングペーパーがなくなったら

付属のクリーニングペーパーは繰り返しご使用いただけますが、汚れがひどくなったり、紛失した場合には厚紙(無地)で代用することができます。ただし、印刷や特殊なコーティングがされているものは避けてください。

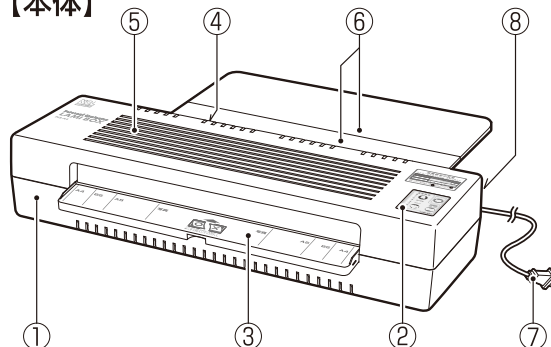
本体のお手入れ

本体カバーは柔らかい布でからぶきしてください。(中性洗剤・化学ぞうきんをご使用の際は、その注意書きにしたがってください。)

	お手入れの際には必ず電源プラグを抜いてください。
	機械に直接水をかけての掃除、ベンジン・シンナー・アルコールなどは使用しないでください。
	本体カバーを取り外してのお手入れはしないでください。感電や故障の原因となります。
	機械の内部や外部の掃除などに可燃性スプレーや可燃性揮発物等を使用しないでください。引火の恐れがあります。

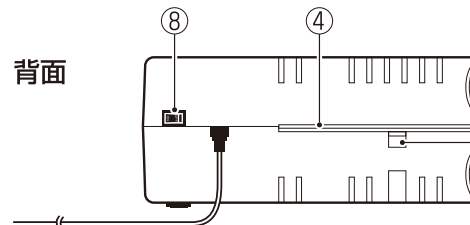
各部の名称と働き

【本体】



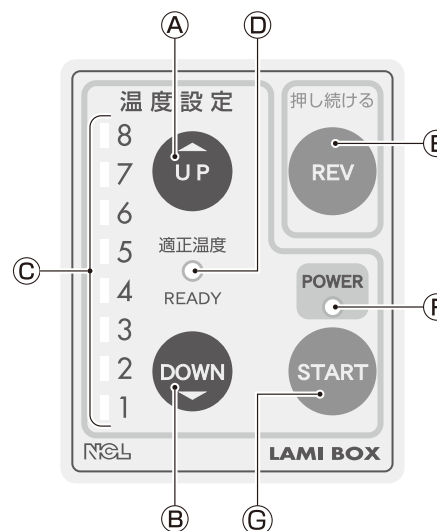
- ①本体カバー
- ②操作スイッチ部 ※下記参照
- ③フィルム挿入口(サイズ表示目安付)
※開閉式 ▶ P.7
- ④フィルム排出口(背面)
- ⑤放熱口
- ⑥トレイA・B
※組み立て式 ▶ P.7
- ⑦電源プラグ
- ⑧電源スイッチ

背面



トレイ用穴

【操作パネル部】



- Ⓐ 温度UP(アップ)スイッチ
温度設定を1段階上げることができます。
- Ⓑ 温度DOWN(ダウン)スイッチ
温度設定を1段階下げることができます。
- Ⓒ 温度設定ランプ
現在の温度設定を表示します。
スタートスイッチを押した時点は3に設定されているので原稿やラミネートフィルムの厚みに応じた温度設定をおこなってください。
- Ⓓ 適正温度ランプ〈緑〉
設定した温度に達すると点灯します。
- Ⓔ REVERSE(リバース)スイッチ
押し続けているあいだ逆転「REVERSE」に切り替わります。
- Ⓕ POWER(パワー)ランプ〈赤〉
電源が「ON」の状態の時に点灯します。
- Ⓖ START(スタート)スイッチ
ラミネータ内部のヒーターのオン「ON」とオフ「OFF」切り替えを行います。
オン「ON」にしないと温度設定できません。

※スタートスイッチを押してから1時間すると
ⒸとⒹが点滅し加熱ヒーターが切れます。

故障かな？と思ったら トラブル時のチェックポイント

症状	原因／処置
・動かない ・POWERランプ(赤)が点灯しない	→ 電源プラグをコンセントにしっかり差し込んでください。 → 電源スイッチを押して電源を「ON」にしてください。 ■ P.8
・温度設定ランプがつかない ・温度UP/DOWNスイッチを押しても反応がない	→ STARTスイッチを押してください。STARTスイッチを押さないと温度設定ランプは点灯せず、温度のUP/DOWNの操作もできません。 ■ P.8
・温度設定ランプが点滅する ・温度設定ランプが消える	→ 本機の使用時間は1時間です。STARTスイッチを押してから1時間経っていませんか？1時間で自動的に温度設定・温度適正ランプが点滅し加熱ヒーターが切れます。 ■ P.9
・適正温度ランプ(緑)が点灯しない	→ 通常、温度設定3の時STARTスイッチを押して約8分で点灯します。温度設定が高い場合や室温が低い場合もあるので20分程度お待ちください。 → クーラーや扇風機の風が本機にあたらないようにしてください。 → 本機の使用時間は1時間です。STARTスイッチを押してから1時間経っていませんか？ ■ P.9
・ラミネートフィルムが入っていない	→ 電源が「OFF」になっていませんか？電源スイッチを押して電源を「ON」にしてください。 → フィルムと原稿を合わせた厚みが0.6mmを越えたらラミネートできません。
・温度が上がらない ・ラミネートされない	→ 適正な温度設定になっていますか？「温度設定の目安」を参考に温度設定を温度UPスイッチで少しづつ温度を上げて調整してください。 ■ P.8 → 本機の使用時間は1時間です。STARTスイッチを押してから1時間経っていませんか？1時間で自動的に温度設定・温度適正ランプが点滅し加熱ヒーターが切れます。 ■ P.9
・仕上がりが白っぽい ・密着性が悪い ・フィルムにシワ(縦方向)が発生する	→ 温度設定を原稿の厚みに合わせて設定してください。 ■ P.8 → 温度設定を温度UPスイッチで少しづつ温度を上げて調整してください。 ■ P.12 → 適正温度ランプ(緑)が点灯してからご使用ください。消灯したら点灯するまでしばらくお待ちください。 → 原稿が厚いと原稿の周囲の余白部分がしっかり密着しない場合があります。 → フィルムは原稿よりも3～5mm大きいものをご用意ください。 ■ P.6 → 湿気を含んだ原稿では正しくラミネートできません。 → クーラーの冷氣や扇風機の風が本機にあたらないようにしてください。 → 厚手の原稿に150μmのフィルムを使用すると、十分に密着しない場合があります。100μmのフィルムをご使用ください。 → 必ず「ナカバヤシ」のラミネートフィルムをご使用ください。フィルムの特性が合わないといと正しくラミネートできません。

安全上の注意事項 安全のため必ずお守りください

本機およびこの取扱説明書には、次のような絵表示で注意事項を注記しています。



警告

取扱いを誤った場合、使用者が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。



注意

取扱いを誤った場合、使用者が軽傷を負う危険が想定される内容、および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。



禁止事項を示します。
禁止行為を行いますと、直接または機械の損傷の結果けがを負う可能性があります。
禁止の内容を  の中に絵文字で示します。



要請事項を示します。
要請事項が実施されない場合は、十分な安全を保つことができません。
要請の内容を  の中に絵文字で示します。



機械を使用する際の保守上の注意及び補足や参考を示します。

機械の設置上の注意事項



警告



表示された電源・電圧以外で使用しないでください。また、タコ足配線をしないでください。火災・感電の恐れがあります。



熱に弱い敷物の上や燃えやすい物の近くで使用しないでください。火災や機械の故障の原因となります。



お子様、乳幼児の手の届くところに設置しないでください。やけど・感電の恐れがあります。



注意



次のような場所への設置は避けてください。
・ストーブなどの熱器具やクーラーの吹き出し口の近くなど極端に温度や湿度が高いまたは低い場所。
・調理台や加湿器のそばなど油煙や湯気があたるような場所。
・直射日光のあたる場所。
・ほこりや振動の多い場所。
・ぐらついた台の上や傾いた所などの不安定な場所。



機械の上に物を置かないでください。本体上部は高温になるため、置いた物が変形したり、機械の故障の原因となります。



移動の際は必ず電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて行ってください。コードが傷つき、火災や感電の原因となります。